

海外派遣留学プログラム報告書 (報告期間：2022/09/02 ～2022/11/05)

1. 勉学の状況

前期は三つの授業を受講しています。スペイン語文法、アジア文化、英語の発音の授業です。基本的に難易度の低い一、二年生向けの授業を取るようにしました。

スペイン語文法の授業は外国人にどのようにスペイン語文法を教えるかという授業です。先輩方が皆さん履修していて大変だけどこれを取るとかなりスペイン語力がつくとおっしゃっていたので履修を決めました。日本で勉強した文法事項の復習も兼ねて文法を勉強していますが、それだけでなく文法をどのように解説するかも考えるのでかなり頭を使います。どう説明することが良いのか考えるのが非常に難しく、ネイティブの意見はかなり勉強になります。文法自体は既に勉強したことなので授業自体を理解することができるのですが、先生が話すのが速く付いて行くことが難しいです。段々慣れてきましたが、もっと聞く力を付けなければならないと気が引き締められました。

アジア文化の授業は難易度が低そうだったので受講することにしました。また、スペインではアジア文化がどのように受け入れられているのか気になっていました。授業内容はアジアの大衆文化についてです。先生が作るスライドも細かいので理解しやすいです。既に4, 5週目あたりですが先生の講義は終了し生徒によるプレゼンテーションが始まっています。幸いなことにテストがなく、11月の後半にグループでのプレゼンテーションがあるのでグループにいるスペイン人にたくさん助けてもらっています。この授業を受けている生徒はアジア文化に興味がある生徒ばかりなのでプレゼンテーションの内容が面白いのと日本からの学生である私たちに興味をもってくれて楽しいです。スペイン語を話す練習もできてこの授業を取ってよかったと思います。

語学学校の時間の関係上受たい授業を受けることができず英語の授業も受けています。英語の発音に関する授業で今まで発音について詳しく勉強したことがなかったので自分の英語を見直す時間になって良いです。火曜と木曜に授業があるのですが、異なる先生が担当し火曜は用語解説、木曜は発音練習を行います。日本ではこのようなタイプの授業を受けたことがなかったので新鮮で面白いと思いました。スペインでは学生がどのように英語を学んでいるのか観察することやそれを日本と比べることができるのもかなり面白いです。また、前期は英語を受講しているので後期はまた違う言語を学び始めてみるのもいいかなと視野を広げてくれました。フランス語やポルトガル語を学んでいる友人もいるので一緒に履修することを考えています。

大学以外にも語学学校に通っています。家から徒歩10分のところにあります。会話中心ですが、同時にたくさんの用語も学べてとても良い環境です。クラスメートは私よりも上手にスペイン語を話すのでわからないところがあればすぐに聞くようにしています。みんな優しいのでたくさん助けてくれて会話練習もしてくれます。大学の授業だけではスペイン語を話す機会が少ないので週5日の語学学校はかなり役立っています。

2. 生活の状況

大学・語学学校から徒歩10分のところに住んでいます。目の前には **mercadona** という大きいスーパーもありかなり立地の良い場所です。どこへ行くにも遠すぎず毎日散歩を楽しんでいます。2019年にリノベーションされた物件のようでかなりきれいで広く生活しやすいです。設備もよく到着してすぐに住む必要はないものはありませんでした。かなり満足しています。ピソには私を含め4人住んでおり、ドイツ、スペイン、アメリカから来た女の子と住んでいます。基本的には英語で話していますが、スペイン人の子にはスペイン語を話す練習を頑張りたいと伝えたのでスペイン語で話します。ドイツの子もかなり流暢にスペイン語を話すのでわからないことがあったら教えてもらいます。私がスペインに到着する数日前にドイツの子が住み始めていたので初日からご飯に連れて行ってくれました。その時に出会った人たちと今もよく遊んでいます。トルメス川でピクニックをしたりバルやボーリング、映画を見に行ったりたくさんのところに連れて行ってくれます。また、アニメや漫画、k-popのおかげでアジア文化に興味

を持ってきている友人も多く、話すことが尽きないので楽しいです。ただ、今まで洋画ばかりに興味をもってスペインに来てしまったのでアニメや漫画にはそれほど詳しくなく、説明してもらったことが多いです。来る前に一つだけでも読んでおけばよかったなと後悔しています。特にワンピースとドラゴンボールがとても人気で、道ばたでフィギュアが売られているのを見ることが多いです。

渡航前に心配していた食べ物ですが、どれもとても美味しいです。特にお店で食べるボカデイージョという固いパンのなかに具材が挟まったサンドウィッチのような食べ物、そしてスペイン発祥のチュロスが絶品です。朝は寒いので温かいチョコにチュロスをつけてカフェラテを飲んで温まるのが幸せです。ところどころにあるカフェにはたくさんの甘いケーキが並んでいます。コーヒーが美味しいのはもちろんですがオレンジをその場で絞ってジュースにするところが多いのでオレンジジュースもとても美味しいです。たまに日本食が恋しくなることもあるのですがアジアンショップが徒歩圏内にありスーパーでもお米が売られているのでちゃんとしたものを作ることができます。

平日 14 時から 17 時の間と、日曜日にほとんどの店が閉まっていることやお店のお水が有料であることなど日本と異なり戸惑うこともまだ多いですが、その違いも面白いなと思いながら生活しています。あっという間に二か月が過ぎてしまいましたが、より多くのことを発見して満足できるものにしていきたいと思います。

海外派遣留学プログラム報告書 (報告期間：2022/11/06 ～2023/03/10)

1. 勉学の状況

後期は前期同様三つの授業を受講しています。前期に登録した後期分の授業は変更できるので、学部のホームページに載っているページを印刷しコーディネーターの方のサインをいただいてから期間内に *secretaría* に提出しました。ちなみに印刷は歩いていたらどこにでもある *copistería* というところに行けばすぐに安くできます。

一つ目の授業は、アジア社会の授業です。前期に受講したアジアの授業が面白かったので後期も取ってみることにしました。授業内容は日本、韓国、中国の政治形態について学ぶというものです。一年生必修の授業なので基本的な内容です。高校で学んだことのある内容が多いのでそれほど難しくはないのですが、板書中心の先生に当たりました。口頭のみでの説明では聞き逃しが多かったのですが、板書だと授業中に内容を理解できる量が多いです。しかし、一つ問題なのが先生の文字を解読することが難しいです。文字がすべて繋がっている上、小さいので目を凝らしています。そのほかは問題ありません。

二つ目は、社会学の授業です。当初は法学部にある *global studies* の授業を取りたかったのですが、私が所属している文献学部の学生はそれらの授業を取ることができないので、社会科学学部にある *sociedad global* というグローバル社会に関する授業を取ることになりました。この授業も板書があり、文字を読み取るのに苦戦しています。しかし 2 週間に一回提出する課題では授業内容について自分の考えを提出し先生が長いコメントをしてくれるので授業内容を忘れにくいです。授業のレベルもそれほど高くないので留学生でもついていきやすいです。

三つ目は、スペイン文学の授業です。スペインの詩について勉強しています。今まで詩の勉強をあまりしたことがなかったのでかなり難しいですが、千葉大学にない授業を取ってみたいだったので挑戦することになりました。先生がゆっくり話すのでかなり聞き取りやすいです。大体二週間に一回ある詩に関する課題が出て 800 字程度で自分の考えを述べます。自分の考えを述べるのに一つの答えがあるわけがないのでこのタイプの授業はかなり好きで楽しんでます。しかしこの授業はスペイン語が流暢であり、詩についての知識がないとかなり難しいので留学生向けとは言えないのでかなりの時間を復習に要します。

授業を決める際は、スペイン人の友人に聞くことをお勧めします。授業を受けたことのある人や噂を聞いたことのある人、たくさんの情報を持っています。基本的にみんな親切に助けてくれるので聞いてみてください。

2. 生活の状況

前期に比べてかなり落ち着いた生活を送っています。前期は一緒に行動していた友人が 10 人いましたが、後期になりその半分が留学を終え 5 人になりました。新しい友人もできましたがどこか外に出て遊ぶよりも、誰かの家に集まって映画を見たりピザを食べたりすることが増えました。その代わりにスペイン各地に行く予定を立てるなど、残り少ない留学生活を楽しもうとしています。また、私にとってもよくしてくれたドイツ出身のルームメイトも帰国し、新しいルームメイトが来ました。彼女もドイツ出身でとても優しい子です。基本的に私が住んでいるピソでルームメイト同士の交流はないのですが、彼女とはコーヒーを飲みに行ったりしました。彼女は積極的に誘ってくれるので嬉しいです。

留学期間を半分終えたところで、小麦粉をたくさん食べ過ぎていたことに気づき、最近は美味しいサラダの食べ方を模索しています。生ハムやチーズ、フルーツも日本のものとは少し違う味がするのでたくさん試しています。前期は日本食が恋しくてたまらなかったのですが、今はそれよりもスペインにいるうちにしか食べられないものを食べています。生ハムとチーズはスーパーにたくさんあるので食べ比べをすることが楽しいです。特に生活必需品の物価が高い気がするので、計算しながら生活しています。

休日はほとんど友人と過ごしています。先日はバスで一時間ほど離れたロドリゴという町に闘牛を見に行きました。その闘牛はカーニバルの一環で友人みんなと仮装をしていきました。スペインの伝統行事である闘牛を見ることができとても満足していますが、正直目の前で牛が

ぶつかり合っているのは怖いので次回誘われたときは少し考えようと思います。残念ながら 6 月に帰国予定で行くことができないのですが、8 月に開催されているトマト祭りはより壮大なようなのでまた機会があれば行きたいです。

留学開始から 6 か月が経過しました。本当にあっという間に過ぎていきましたが、同時にとても充実しています。春を感じる隙もなく夏が到来しそうです。残り少ない派遣期間ですが、美味しい食べ物を楽しみたいと思います。

海外派遣留学プログラム報告書 (報告期間：2023/3/11 ～2023/06/28)

1. 勉学の状況

留学も終盤に差し掛かるとともに、授業内で理解できることも増えてきました。しかしながらまだ完全には理解できないので友人に聞いたり先生に聞いたり繰り返してはまだ行っていました。初めの頃は、緊張して聞くことをためらっていたことも何度もありましたが基本的にみんな優しく答えてくれるので時間が経つにつれて躊躇うこともなくなりました。何より、スペインの学生はかなり真面目にノートを取っている印象なので、わからないことがあってもノートを見ると解決することが多いです。

5月にはテストがありました。テスト前には毎日朝から友人と図書館に行き勉強し、帰りにゆっくり話して、ご飯を食べて、寝る、の繰り返しでした。テストは、前期での経験がありましたがそれでも気は抜けないと毎日頑張りました。フランスやドイツなどの留学生の友人が多いのですが、みんなしっかり勉強しつつ遊ぶことも徹底していると感じました。図書館から帰る途中で一緒にアイスクリームを食べて夜まで plaza mayor でお話ししていることもありました。ほかの友人は週に2、3回サッカーをしに行くのですが、テストの前日ではない限り行っていたのが印象的でした。

スペインでは segunda convocatoria といって一度テストで不合格になってももう一度チャンスを得るシステムがあります。私が受講していた授業はテストをもう一度受けられる権利を得られるものが多かったです。スペイン語に関する授業は課題の提出のみだったので、segunda convocatoria では、点数が低かった課題をいくつでももう一度提出することができました。ただ、segunda convocatoria まで行くと、貴重な留学の最終月にテスト勉強をしなければならないので友人も私も最初のテストで合格できるように必死に勉強しました。

2. 生活の状況

留学後半は、スペインでしかできないことやスペインでしか食べられないものに挑戦しようと生活していました。今まではスーパーで買う物も同じものばかりでしたが、今まで買おうと思わなかったものや少し高い生ハムを買うなど、とにかく自分なりに充実させようと必死だったような気がします。ただ私の場合、日本食が恋しくなると思い込んで日本から調味料をかなり持ってきていて、その消費に追われた日々がありました。お菓子は友人にあげたり自分で勉強しながら食べたりできたのですがすぐになくなったのですが、調味料は10か月の間ではあまりたくさん使わなかったのも、あまり持ってこなくてよかったと思います。また、アジア食料品店がいくつかあり、少し高いですがあまりにも恋しかったらある程度のは買えると思います。

4月下旬からまれにかなり暑くなる日がありました。急に着る服が変わって大変でした。私は日本からハンディファンを持って行ったので日中・夜中ともに大活躍でした。10か月通してあまり使用しませんでした。寒暖差が激しいので持って行って良かったと感じます。ちなみにスペインではあまり売っていないので持っている人もいませんでした。また、スペインは晴れの日が多く太陽の光も強いので、日焼け止めは必須です。私は既に使い始めていたチューブ一つしか持っていかなかったので足りませんでした。しかしスペインの日焼け止めはほとんどがとても大きなボトルで高かったです。私はもうすぐ帰国だし、と思い化粧下地で何とか耐えました。基礎化粧品と合わせて日焼け止めも1年分持っていくことをお勧めします。

5月、6月は毎日友人と何かして過ごしていました。サラマンカは小さな街でどの友人の家も徒歩10分圏内にあり、とにかく友人と頻りに会いやすかったです。私の場合大学の規定で帰りの航空券を派遣前に購入していました。購入時には現地の友人たちがいつ帰るのかわからないので6月末の便を購入しましたが、多くの友人は私よりも先に帰国してしまい、寂しい思いをしたのでもう少し早めの便を買うべきだったかなと思いました。それでも、最後の方は一人でサラマンカを回りながら留学初期のころを思い出しいい時間を過ごせました。

帰国してからは現実に戻ってきたと感じます。これからは就職活動などやるのが山積みになっていますが、この10か月を乗り越え、なんでも頑張れそうだと思います。数字としてみると長い10か月間でしたが、体感的にはあっという間で今自分が日本に帰ってきているなんて信

じられません。毎日が初めてのことだらけで楽しいサラマンカでの生活を体験できたことを本当に幸せだと感じます。